

### 1 PLAN(目的・概要)

その他経常業

政策名	交流・環境	責任者	港営部 関連事業担当課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	連絡先	052-654-7836
事務事業名	運動施設・緑地等の管理・運営	連携課	
目的	対象(誰・何を)	事業 期間	平成18年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)		
概要	臨港緑地の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	根拠 法令等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例、名古屋港管理組合臨港緑地条例
活動内容	指定管理者に対して、定例的な会議、モニタリングを通して、指導・助言を行っていきます。 また、各種イベントを実施するとともに、運動施設の利用者の増加を図ります。	実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		関連 シート	

### 2 DO(実施)

コスト	単位	28年度	29年度	30年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	260,463	262,899	333,649	285,670	事業費には指定管理料及び本組合が実施した工事費を計上しています。 なお、平成30年度は、新舞子マリンパーク養浜砂投入工事等により増加しました。
人件費	千円	20,247	23,986	28,671	24,301	
合計	千円	280,710	286,885	362,320	309,972	

### 3 CHECK(検証)

指標名		28年度	29年度	30年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
定例の会議・モニタリング回数(回) (単年度管理型)	目標	48	48	48	48	平成26年度からモニタリング12回×4者=48回とします。		
	実績	48	48	48	48			
利用者数(千人) (単年度管理型)	目標	381	381	417	417	全緑地の利用者数の合計(野球場6面、テニスコート8面、運動広場5面、サイクリングロード、マリンパーク利用者数、ゴルフ場利用者数の合計)、平成27年度から暫定釣り施設の利用者を含みます。	天候	
	実績	542	522	520	520			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	モニタリング回数は、目標どおり実施しました。 利用者数は、記録的な猛暑や台風等の影響もあり、前年度に比べ減少しましたが、目標値を上回りました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○					港湾の緑地を整備し運営することは、港湾管理者の責務であり、本組合の関与が必要と考えます。また、運動施設・緑地等の管理・運営により、港のにぎわいと憩いの空間の創出につなげていきます。	
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○					多くの人々に利用されており、施策達成に貢献しています。	
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○					施設の維持修繕等は優先順位を定め、最小のコストで最大の効果が得られるよう努めています。	

### 4 ACTION(取組)

課題	令和元年度以降の取組
効率的な施設の維持管理に努めるとともに、各種イベント開催等の利用促進の取組を強化する必要があります。	モニタリング等を強化し、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスの提供に努めるよう、指定管理者に対し指導・助言を行います。